

学校だより

学校だより5月号
令和4年4月28日
発行者 外日角小学校
TEL 283-0040

今年の外小、こんな学校に！

校長 稲垣 一郎

新緑が美しい季節になりました。新年度が始まって1ヶ月。新型コロナウイルス感染予防策をしながらの生活が続いています。毎朝、交差点や学校の玄関前で、元気に挨拶する子、笑顔で挨拶する子等、子ども達の明るくさわやかな声で1日が始まっています。そんな子ども達から、たくさんの元気と勇気をいただいています。今後も、未来を担う宝である子ども達の安全・安心を第一に考え、学校も一丸となり最善の方法を考えて対応していきたいと思っています。学習や生活の様子についての情報は、ホームページやたよりなどでお知らせをしていきますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今回は、今年度の学校経営の目標や重点事項（一部）などをお知らせします。

【教育理念～こんな学校に～】

子ども達を「信じ」、やってみたいと思う場面を設定して「任せ」、その努力を「認める」ということを教師が自主的・協働的に実践することで、子どもたちの自己指導能力を高め、楽しい「幸福」だと思える学校にする。子どもにとって『幸福な学校』

○学校教育目標

『自ら考えともに学び、心豊かにたくましく生きる外小っ子の育成』

○めざす児童像→「知」「徳」「体」のバランスの取れた「生きる力」のある子

考える子 知

- ・めあてや課題をもち、自らその達成や解決に努力する子
- ・他の人の思いを聞き、自分の思いを伝え、互いに深め合う子
- ・学びをもとに判断し、次に生かしていこうとする子

心豊かな子 徳

- ・相手やみんなのことを考えて、正しい行動ができる子
- ・だれにでも明るく、笑顔であいさつができる子
- ・美しいものに感動し、自然や人間に対して豊かな愛情をもつ子

たくましい子 体

- ・自らを知り、心身共に健やかな子
- ・自ら考え、判断し、実行する子
- ・困難にあっても、粘り強く努力する子



○学校で主に重点的に取り組むこと

(1) 授業後半の充実と深い学びの実現

- 本時の学習の流れや見通しを明確にしたうえで、児童の思考の流れを大切にしたい課題設定・学び合いの場・構造的な板書の工夫を行う。そうすることで、学習への意欲を継続させると共に自己有用感を高める。授業構想シートを効果的に活用することで授業力向上につなげる。（週案の充実）

(2) 学習場面に応じた1人1台端末の効果的な活用

- プログラミング教育・GIGAスクールをはじめ、すべての学習活動において目的に応じてICTを有効活用することで、児童の学習意欲・学力向上を図る。

(3) いじめ・不登校の未然防止と適切な対応

- 児童理解をもとに、「学校が楽しい」と言える人間関係づくりに努める。「信じる」「任せる」「認める」をキーワードとして、児童支援を実践していく。生徒指導の三機能を教師は意識をし、常に笑顔で対応する。

(4) 視力の低下防止と体力・運動能力の向上

- 中学校と連携しながらメディアコントロールや早寝・早起き・朝ごはんを推奨することで、基本的な生活習慣や視力低下の防止を図る。また、PTA総会や保健だより等で協力を保護者に呼びかける。

(5) 教職員の超過勤務の縮減と若手ミドルリーダーの育成

- 教職員が心身ともに健康な状態で児童と向き合える環境づくりに向けて、教職員の勤務時間の管理を進める。毎週水曜日を「ノー残業デー」とし、最終退校時刻を「20:00」とする。また、教職員自身が主体的に学べる場を設定し、対応力・授業力の向上を目指す。

(6) カリキュラム・マネジメントの取組

- カリ・マネの柱である「表現活動の充実」を組織的に運営する体制づくりをする。そのため、学年会、学年代表者会で「表現活動の充実」について話し合い、「できるよカード」を活用しながら共通実践を行っていく。